

農業文化園・戸田川緑地(南地区)の魅力向上について (基本的な考え方)

【趣旨】

農業文化園・戸田川緑地(南地区)は、名古屋市西部の農業地域を代表する農業公園として、また広大な芝生広場や「とだがわこどもランド」等を有する都市公園として、開園後30年にわたり多くの市民に親しまれてきた。

これまで以上に農業地域の特性をいかし、より一層魅力的な公園とするため、地元農家の農産物を買ったり、味わったりできるサービス、気軽に農を体験できるサービスなど、民間活力も積極的に取り入れながら、市民の農への関心を高め、みどりの中で多様な世代が一日中楽しむことができ、地域の誇りとなる公園をめざす。

めざす公園像

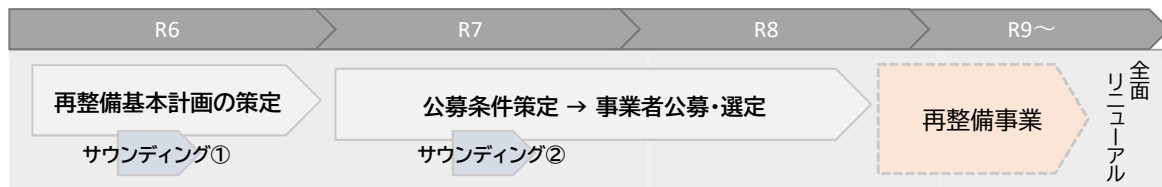
～農と自然にふれあい、まなび・あそび・元気になる公園～

再整備の方針

農を体感する		こどもが成長する	みどりをを感じる
体験	楽しむ		
農と触れ合うきっかけや農の体験の場となる空間		こどもたちがみどりの中で遊びながら成長できる空間	
- 農を実際に体験する 例) 収穫体験農園 農産物加工体験など - 多様な人が農を知る 例) 農インフォメーション 農産物栽培講習会など		- こどもたちの心に残る農やみどりの体験 例) 学校向け体験プログラム 森づくり体験プログラム - 幅広い年齢のこどもたちが遊ぶ 例) アスレチック遊具 障害物レース場など	
- 地元農産物を楽しむ空間 例) 産直市場 農産物レストランなど - 農業イベント等を楽しむ 例) マルシェ イベント広場など		- 多様な人がみどりの中で体と心が元気になる空間 ・広々とした空間でみどりを感じゆったりと過ごす 例) 芝生広場、散歩路 B B Q広場、カフェ、 テイクアウト施設など ・季節の花々や木々を楽しむ 例) お花畑、並木道 花を育てる講習会など	
			

今後のスケジュール(想定)

民間アイデアやノウハウを積極的に活かすため、本市の基本的な考え方を示したうえで民間事業者との対話(サウンディング)を重ね、市民意見も取り入れながら再整備事業を進める。令和6年度のサウンディング①では、民間事業者のアイデアや事業性を調査し、令和7年度のサウンディング②で具体的な公募条件を整理したうえで、令和8年度にかけて事業者公募・選定を実施する予定である。



【ゾーニング例】

※配置に関する整備条件を示したものではありません

